

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和6年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市CATVセンター（通称「ゆりほんテレビ」）
所在地	由利本荘市岩谷町字日渡51番地1
設置年月日	平成6年4月1日（自主放送開始）
施設の設置目的・概要	由利本荘市有線テレビジョン放送は、市の産業の近代化及び生活環境の改善向上に資するため、各種の情報提供を行い、広報活動並びに住民相互の連絡を円滑にし、新しい情報社会に適応した明るく、住みよい、豊かな市を建設する。
建物・設備の概要	① 自主放送設備 ② 受信点設備 ③ 中継線設備 ④ 放送設備（CATVセンターおよびサブセンター7か所に設置） ⑤ 伝送路設備

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社秋田ケーブルテレビ	所管課	情報政策課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の維持管理及び運営事務		
指定管理料	70,000,000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	1) ケーブルテレビへの加入及び脱退をはじめ、利用料の徴収、減免などについては、由利本荘市CATVセンター条例等に基づき適正・平等に実施 2) 地域に密着した情報を思想や内容に偏ることなく幅広く情報の提供を実施	-	A	A
サービスの向上	1) 電話受付：24時間365日 2) 新規加入者の希望日に沿った引込工事対応を実施 3) より多くの方々に加入していただけるよう企画キャンペーンを実施	-	A	A
管理経費の向上	1) 伝送路の維持・修繕について、一定額を確保し、利用・サービ	計画比 100%	計画比 252%	S

	ス提供に支障をきたさぬよう適時・適正に管理を実施			
適正な管理運営	1) 個人情報取扱特記事項を遵守 2) 各施設や設備の保守点検を励行 3) 施設管理業務従事者の安全管理を徹底	-	A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

「管理経費の向上」について、大雨災害による伝送路損壊の発生により想定外の業務が発生したにも関わらず、速やかかつ的確に対応が為されたものと評価する。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート(令和6年度)

1 施設の概要

施設名称	大内高齢者生活支援ハウス
所在地	由利本荘市岩谷町字ハケノ下58
設置年月日	平成3年3月1日
施設の設置目的・概要	高齢者等のための居宅において生活することに不安のある者に対して、必要の応じて住居を提供する。
建物・設備の概要	構造 鉄筋コンクリート造 平屋建て 延床面積 171.72 平方メートル

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	社会福祉法人由利本荘市社会福祉協議会	所管課	大内総合支所市民サービス課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日まで		
指定管理業務の内容	施設の運営、施設の維持管理、個人情報の保護、利用料金の管理		
指定管理料	6,446,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	設置目的を果たすため、広く市民に開放し、平等な利用促進を進める。		A	A
サービスの向上	窓口で職員が常駐し、いつでも利用者に対応できる。料金表を見易いところに掲示する。		A	A
管理経費の向上	管理経費の縮減に向けた取り組みを行い、経費の縮減が利用サービスの低下を招かないようにする。		A	A
適正な管理運営	定期的に点検日を設け、施設整備・備品等の安全を確認し、利用者の事故を防止する。避難訓練を実施。		A	A

(2) 管理運営に対する評価

	項目	自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の 維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の 適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報 適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

AA

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和6年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市折渡休憩所
所在地	由利本荘市岩谷麓字折渡 12-3
設置年月日	平成7年4月1日
施設の設置目的・概要	折渡地蔵尊は、大内地域の観光名所の一つで参拝者などの休憩所
建物・設備の概要	木造一部鉄骨2階建て

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	大内町観光物産協議会	所管課	大内総合支所 産業建設課
指定期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
指定管理業務の内容	施設の運営・維持管理・土産販売等		
指定管理料	2,500,000円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	本施設は恵まれた自然環境の中で、市民の自由な時間を分け隔てない利用に心がけている。	—	A	A
サービスの向上	1月の初地蔵かんじき詣り、7月の地蔵尊例大祭など、市民の交流や情報の告知、交換、観光振興の観点から適切な運営に努める。	—	A	A
管理経費の向上	間伐材による木の温もりを大切に誰もが気軽に立ち寄り、コミュニケーションをとれる施設にする。	—	A	A
適正な管理運営	平成7年度より市(旧大内町)と委託契約を結び、管理業務を遂行しており、管理に実績がある。	—	A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A

サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A A

(4) 特記事項

--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和6年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市ぽぽろ健康運動公園総合体育館・スポーツ広場
所在地	秋田県由利本荘市岩谷町字西越 62 番地
設置年月日	平成 17 年
施設の設置目的・概要	市民の活動交流拠点として地域交流の促進と賑わいの創出
建物・設備の概要	・総合体育館 鉄筋コンクリート造一部3階建（地上2階・地下1階） 建築面積 4462.91 m²（延床面積 5.864 m²） ・スポーツ広場 面積 4.677 m² ※附設トイレ 1 棟 床面積 55.86 m²

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	ミズノスポーツサービス株式会社	所管課	東日本営業部
指定期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日		
指定管理業務の内容	由利本荘市ぽぽろ健康運動公園総合体育館・スポーツ広場の管理業務		
指定管理料	36,401,300 円(消費税込)/年		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	市民の平等利用の確保については、以下の方策と施策を打ち出しています。 ① 誰もが平等、公平に利用できる機会の提供 ② 誰もが安全かつ快適で利用しやすい環境の提供 ③ 誰もがわかりやすく、伝わりやすい情報の提供 ④ 誰もが参加できるプログラム・多世代の多様なニーズに応えるプログラムの提供	各室場の稼働率を計画し、稼働率の低い施設の利用促進策を打出し、稼働率向上を図る。 令和6年度稼働率目標 ・メインアリーナ 57% ・サブアリーナ 53% ・会議室 31% ・スポーツ広場 13%	稼働率実績 ・メインアリーナ 55.3% ・サブアリーナ 48.5% ・会議室 31.1% ・スポーツ広場 16.9%	B

サービスの向上	サービスの向上については4つのアクションプランを策定しています。 プラン① 利用者満足度を高める利便性の高いサービス提供 プラン② 市民に情報を漏れなく伝える広報宣伝の実施 プラン③ 地域で活動する団体と連携した施設利用促進 プラン④ 市民の活気づくりとサポートする自主事業の実施	サービス向上の指標として、令和7年度までの目標利用者数を設定しています。 ・令和6年度目標利用者数 56,700人	利用者数実績 55,388人	B
管理経費の向上	管理経費の削減策として以下に取り組んでいます。 ・省エネを徹底し、待機電力の削減 ・スタッフ多能化による業務効率化 ・内製化を促進し、経費削減	—	—	—
適正な管理運営	・施設の予防安全の徹底 ・さまざまな状況に対応できるための研修	リスクマネジメントをはじめとする関係法令などの教育研修を計画・実施をしています。	令和6年度研修実施計画書記載	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	A	A
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A

	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の 維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	B	A
経営状況の 適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	B	A
個人情報 適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

運営・経営努力により自主事業収入が利用料金収入を上回っている。 他の施設との兼ね合いでキャンセルされることも多く、稼働実績が目標に達していない。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート（令和6年度）

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市大内道の駅周辺施設
所在地	由利本荘市岩谷町字西越 36 番地
設置年月日	平成 12 年 4 月 25 日
施設の設置目的・概要	市民の心身の健康増進及び都市住民との交流並びにコミュニティ活動の助長を図り、ゆとりある市民生活の実現と福祉の向上を目的とする。
建物・設備の概要	由利本荘市総合交流ターミナル温泉宿泊施設「ぽぼろっこ」 由利本荘市大内総合交流ターミナル「ぽぼろっこ」 由利本荘市大内多目的広場 由利本荘市大内交流広場 由利本荘市大内地場産業振興施設

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社エイチ・アイ・エス	所管課	大内産業建設課
指定期間	令和 6 年 8 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 31 日		
指定管理業務の内容	施設の管理及び運営		
指定管理料	15,000,000 円（令和 6 年度※8 か月間）		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	平等性の確保に細心の注意を払い有効活用していただくため市民のレクリエーション活動の一助となるような充実した運営を心がける。	利用拒否 0 名 ⇒結果利用拒否 0 名	S	S
サービスの向上	社員一人一人の資質向上を図りながらお客様により安全、安心な商品を真心込めて提供する。	各月独自イベントの開催 ⇒10,12,1,2,3 月、 5 回イベント実施	A	A
管理経費の向上	原価率の維持と光熱費への転化のため販売価格の見直しを欠かさず行い、重複している業務、削減できる業務は見直しを図る。	—	A	A
適正な管理運営	売上増加、経費削減により黒字経営を目指す。法令を遵守し、問題点は即時対応する。	—	A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	S	S
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	S	S
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	B	B
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	A	A
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	S	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

毎月のようにイベントを行い、市民のレクリエーション活動に寄与しながら、適正な運営を行っている。収入実績は事業計画どおりにはいかなかったが、料金の値上げ等の努力をしている。

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

(参考様式5) 指定管理者年度評価シート

指定管理者年度評価シート (令和6年度)

1 施設の概要

施設名称	由利本荘市 B&G 海洋センター (大内)
所在地	由利本荘市中館字堤台2番地
設置年月日	1985年8月
施設の設置目的・概要	
建物・設備の概要	25m プール、幼児用プール、艇庫

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	株式会社サンアメニティ	所管課	産業建設課
指定期間	令和4年4月1日から令和8年3月31日		
指定管理業務の内容	プール、艇庫の運営管理		
指定管理料	26,442,000 円		

3 評価

(1) 要求水準に対する評価

項目	評価指標	数値目標	実績	評価
市民の 平等使用の確保	法令順守、予約受付の公平性・明性		A	A
サービスの向上	安全性・利用者の公平性、職員の対応の公平性等のサービスの均一性		A	A
管理経費の向上	管理経費の効率化		A	A
適正な管理運営	管理業務仕様書の遵守		A	A

(2) 管理運営に対する評価

項目		自己評価	設置者評価
設置目的・役割	施設の設置目的に合致した基本方針を立て、全職員で共有しているか	A	A
平等使用	一部の市民に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることはないか	A	A
施設効用の発揮	施設の利用を促進させる方策(宣伝・広報等)がとられているか	B	B
サービスの向上	自主事業の内容は利用者にとって魅力的なものか	A	A
	サービスの改善・向上に取り組んでいるか	A	A
	利用者の立場に立った対応をしているか	A	A

項目		自己評価	設置者評価
管理体制	事業計画どおりに業務が執行されているか	A	A
	職員研修は計画どおりに実施されているか	A	A
	緊急時対策や防災対策は適切か	A	A
施設・設備の維持管理状況	施設・設備の管理状況は適切か	A	A
経営状況の適正化	効率的な管理運営がなされているか	B	B
	適切な利用料金設定がなされているか	A	A
個人情報適正管理	個人情報は適切に管理されているか	A	A

(3) 年度評価（数値目標及び管理運営（設置者評価）における評価結果を基に算定）

A

(4) 特記事項

施設の老朽化に加え、光熱水費高騰、物価高などへの対策。海洋センター独自の資格所有者の育成の必要性。夏季の業務がメインのため短期従業員不足が課題。 人件費高騰による委託費（特にプール上屋設置撤去）増加への対策。
--

※評価基準

(1) 要求水準に対する評価

S	達成率 130%以上
A	達成率 90%以上 130%未満
B	達成率 60%以上 90%未満
C	達成率 60%未満

(2) 管理運営に対する評価

S	協定書、仕様書等の遵守に加え、より優れたサービスが提供されている
A	協定書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね協定書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	協定書、基準等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

(3) 年度評価

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
A A	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている